

山の神様と話がしたい

大田の自然を守る会会長 伊藤 宏

私は三瓶の山の神様に二つのプレゼントをいただきました。一つはウスイロヒョウモンモドキという小さな蝶。もう一つは黄色いレンゲツツジ。この二つのプレゼントを山の神様からいただいた時の話をしたいと思います。

私が三瓶山にはじめて登ったのは、昭和29年、中学3年生の時でした。蝶の採集をしていましたので、「三瓶山にはウスイロヒョウモンモドキというめずらしい蝶がいる」、とってみたい、そう思って登りましたが見ることもできませんでした。

昭和37年、東京から大田市に帰り蝶の採集を始め、ウスイロヒョウモンモドキに出会いました。昭和の終わりごろ、全国的にウスイロヒョウモンモドキが少なくなっているのを知り、仲間と保護活動を始めました。幼虫の食草さがし、苗を育てて山に植える、手さぐりの活動でした。

しかし、どんどん少なくなり、ついには1頭のウスイロヒョウモンモドキも見ることができなくなりました。そして、再会・・・ そのときの感動は今も私の宝物です。

三瓶山で一番広い原っぱ「西の原」。毎年、春に山焼きをしています。その西の原には、たくさんのレンゲツツジがあります。1年かけて花芽を育てるのですが、芽が焼けてしまうことがあり、花が咲かない株もできます。

7年ほど前にクロスカントリーのコースができました。そのコースのそばにレンゲツツジがたくさんあるところを知っていたので、焼かずに花を咲かせてやろう、そう思って周りの草を短く刈って水をかけました。しかし、焼けてしまいました。次の年は広く刈ったのですが、焼けました。3年目、もっと広く刈って水もたくさんかけると半分が助かりました。

現在、三瓶山全山でナチュラルな（自生の）キレンゲツツジは、この1本だけです。

キレンゲツツジ、ウスイロヒョウモンモドキ、この2つは山の神様からいただいた物だと私は思っています。



ウスイロヒョウモンモドキ



ウスイロヒョウモンモドキの保護を呼びかける看板



キレンゲツツジ



キレンゲツツジ生育地の草刈り